

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の学習意欲を向上させ、(主体的な選択による学習とキャリア教育を通じて、将来の職業選択を視野に入れた、)自己の進路への自覚を深める教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。また、「プログラミング教育」を教科「情報」から導入し、「全教科」に波及させる。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒が自ら学び、自ら考え、行動する意欲の促進を図る。</p>	<p>①多様な生徒の進路希望に対応し、学習効果の向上を目指した教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>①プログラミング教育研究推進校として、全校をあげたプログラミング教育の研究開発に取り組む。</p> <p>②学校行事に関して生徒会を中心に生徒自ら企画・運営するように指導する。</p>	<p>①100分授業の中でより高い教育効果を上げることを目指した授業改善に努める。具体的にはアクティブ・ラーニングについての職員研修を実施し、生徒主体の授業を実践し、生徒による授業評価「授業工夫」項目のポイントを3.1から3.3に向上させる。また、ICTを効果的に活用し、「教材工夫」項目のポイントを3.4から3.6に向上させる。</p> <p>①プログラミング教育についてすべての教科で学習指導案の研究開発に取り組む。</p> <p>②学校説明会を生徒主体で運営することができるように指導する。</p>	<p>①100分授業で生徒主体の授業改善を目指した改善がなされ、アクティブ・ラーニングの手法やICTを取り入れる事ができたか。</p> <p>①「情報」以外の教科でプログラミング的思考力を身に付けさせることを目指した授業を展開することができたか。</p> <p>②行事で生徒主体の取組を実施できたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図るとともに学校規律を継続させる。</p>	<p>①魅力ある部活動となるよう支援をし、加入率の向上や途中退部者の減少に努める。</p> <p>②支援教育についての理解を深め、生徒一人ひとりの困り感やニーズを把握、共有して支援し、課題の解決にあたる。</p>	<p>①部活動の活性化を目指し、新入生歓迎会等を実施する。また、保護者向け部活動見学日を設定し、年度当初の部活動加入率を73%から75%に向上させる。</p> <p>②各年次会、企画会議、職員会議で生徒の情報を共有し、必要に応じて随時ケース会議を開くとともに、スクールカウンセラー(以下SC)を有効活用する。</p>	<p>①さまざまな取組を実施し、加入率を向上させることができたか。</p> <p>②ケース会議等の取組が支援の必要な生徒の指導に生かせ、課題解決につながったか。</p>					

3	進路指導・支援	①生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。	①キャリア発達に配慮した段階的、系統的な進路指導の充実を図る。	①上級学校や企業、外部機関との連携を深め、効果的な進路ガイダンスを実施する。 ①生徒の自己理解や進路意識を促進するために面談等を適切に実施する。	①効果的な進路ガイダンスや面談を実施することができたか。							
4	地域等との協働	①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 ②「プログラミング教育研究推進校」として、研究開発に取り組む。	①地域や外部の教育力を活用し、地域に信頼される学校づくりを進める。 ②プログラミング教育研究推進校としてコンソーシアムを活用した研究開発に取り組む。	①地域貢献活動や幼保小中学校との連携を通じて、生徒の自己肯定感を高め、地域からの信頼を得る。 ②プログラミング教育研究推進のため民間企業、大学、専門学校との協働研究に取り組む。	①地域の教育力を効果的に活用することができたか。 ②プログラミング教育研究推進を通して外部機関との協働研究ができたか。							
5	学校管理 学校運営	①すべての職員が県立高校改革の実施を踏まえ、変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校体制を構築する。	①広報活動充実を図るためホームページ、学校案内を充実させ、情報がしっかり伝わるようにする。 ①県民から信頼される学校を目指し、事故・不祥事防止ゼロを達成に向けて、職員の自己管理能力を育成する。	①学校案内の内容を精査し、より見やすくする。また、ホームページを行事ごとに更新し、部活動のページを充実させる。 ①総括教諭を主体とした事故防止研修を実施し、教職員一人ひとりの内面化を図る。	①わかりやすく、新鮮な内容の学校案内やホームページの更新ができたか。 ①総括教諭を主体とした事故防止研修を実施し、教職員一人ひとりの内面化を図ることができたか。							